

平成30年度栃木県もち麦研究会 開催要領

～県産品利用拡大研究部会（食用麦需要拡大研究分科会）～

1 目的

近年、国産志向の高まりを受け、主食用途麦や麦茶用途大麦等について実需者からの要望が高まっており、特に、水溶性食物繊維『β-グルカン』を含むもち性の主食用途品種（以下、「もち麦」）の需要が伸びています。

このような中、本県では、もち麦の生産拡大に向けて生産者及び実需者の協力を得ながら栽培適性及び加工適性評価を実施し、栽培性に問題なく加工適性も高い本県オリジナル品種「もち絹香」を普及していくことといたしました。

そこで、「もち絹香」の普及拡大に向けて、もち麦の持つ機能性について生産者や食品産業等への理解促進を深めるため、栃木県もち麦研究会を開催します。

2 主催 栃木県

3 日時 平成31(2019)年2月5日(火) 13:30～16:00

4 場所 栃木県農業試験場 多目的ホール（宇都宮市瓦谷町1080）

5 内容

(1) 「もち絹香」の特性・栽培技術について

- ・「もち絹香」の特性について 栃木県農業試験場 麦類研究室
- ・「もち絹香」の栽培技術について 栃木県 農政部経営技術課

(2) 基調講演

「大麦のβ-グルカンの機能性について」 大妻女子大学 青江 誠一郎 氏

(3) 企画展示

もち麦利用商品展示、試食会

6 スケジュール

時間	内容
13:00	受付開始
13:30 ～ 13:35	開会、主催者あいさつ
13:35 ～ 13:40	麦新規需要対策事業概要説明
13:40 ～ 14:10	「もち絹香」の特性・栽培技術について
14:10 ～ 15:00	基調講演
15:00 ～ 15:10	休憩
15:10 ～ 15:55	企画展示（各社PR、商品紹介、試食、意見交換）
16:00	閉会

7 参集範囲

実需者・加工メーカー、生産者、全国農業協同組合連合会栃木県本部、栃木県農業協同組合中央会、各農業協同組合、栃木県食糧集荷協同組合
その他：フードバレーとちぎ推進協議会会員企業等、県関係機関など

8 参加申込み

別紙の参加申込書に必要事項を御記入の上、1月23日(水)までにお申込みください。